

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 受難節第五主日 礼拝 NO.1164 2021年3月21日

牧師	山本護	奏楽	花曲琴音	第一部礼拝	司式	青柳明美	9:30~10:30
	※讃美は二番まで歌います			第二部礼拝	司式	辻りち子	11:00~12:00
前奏	黙想			讃美歌	138	ああ主はたがため	
讃美歌	30	あさかぜしずかにふきて		献金			
祈禱				讃詠	547	いまささぐるそなえものを	
聖書	イザヤ書 53:8			黙禱			
	ルカによる福音書 23:39~43			主の祈り	564		
讃美歌	142	さかえの主イエスの		頌栄	543	主イエスのめぐみよ	
説教	『十字架のイエスと一人の男』			祝禱			
祈禱				後奏	※信仰告白は省略しています		

受難節の御言葉を読んで、「あれっ、どうしてなのだろう」と考えさせられるところがあった。

「十字架にかけられていた犯罪人の一人が、イエスをののしった。[お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ] (ルカ 23:39)。「もし神からのメシアなら～自分を救うがよい(23:35)」。

「メシア(ヘブライ語)」と「キリスト(ギリシア語)」は同じ意味で「救い主」のこと。これらの箇所、原典では「キリスト」なのに、わざわざ「メシア」と呼び換えている。なぜだろうか。メシアには民族を解放する英雄像が濃厚で、キリストには十字架の愛と永遠の命が重心としてある。同義語であっても、思い描く「救い」のイメージがまるで違う。唾棄するような口調は、英雄的な救い主を想定してのことだから「メシア」と呼び換えているのだろう。しかし私は、この「意識」が良いとは思わない。

私たちが信ずるキリスト、私たちが受ける愛と永遠の命は、何かしらの力を頼みとする世にとっては愚かしいもの。だから文脈から外れても、原典通り「侮辱されるキリスト」がふさわしい。十字架のキリストには後に付与される栄光や勝利の称号などない。見捨てられ、唾棄される「救い」なのだ。

弟子たちは霧散してもうこの場にはいない。こぞってイエスを歓迎した民衆は(18:43,19:37)、解放運動が期待外れに終わったとみるや傍観者になった(23:35)。「他者を救った」奇跡を知っている権威者は皮肉交じりに罵り(23:35)、ローマ軍の一兵卒はイエスと共にユダヤ人をも蔑んだ(23:36~37)。ガリラヤから従って来た女たちは、遠くに立って十字架を、呆然と、力なく見つめていた(23:49)。

「捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか。わたしの民の背きゆえに、彼が神の手にかかり、命ある者の地から断たれたことを(イザヤ53:8)。「わたし(神)の民の背きゆえに、彼は命を取られた」。まさに十字架上のキリスト・イエスではないか。そのことを「誰が思い巡らしたであろうか」。なんと、そのキリストを思い巡らせる者が、一人いるではないか。

「我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない(ルカ 23:41)」。イエスと共に十字架につけられたもう一人の言葉。苦しみ死につつあるからこんな整った口調ではないだろうが、男は続けて言う。「イエスよ、あなたの御国においてになるときには、わたしを思い出してください(23:42)」。待ち望まれた解放という「救い」ではない。男の願いは「救って」ではなく、「思い出してほしい」。死につつある男は「キリスト」の本質に出会った。

イエスは厳かに答えた。「はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる(23:43)」。男がイエスと一緒にいるのはどこか。十字架の上だ。「今日(いま)」、世にあつてもっとも惨めな男が、イエスと共に楽園にいる。存在が消えそうなこの刹那、男は御国にいる。キリストに受け入れられ、キリストの内にいるからだ。男はイエスの言葉に底知れない充足を得た。キリストとつながる永遠を。

この男だけが永遠の御国にいるのか。イエスは呪う者たちのためにも「父よ、彼らをお赦しください(23:34)」と祈った。たとえ背信であろうと、イエスに祈られている。私たちがまた御国にいるのだ。

私たちがキリストと一体になってその死にあやかるならば復活の姿にもあやかれるだろう(マテ 6:5) そんなキリストと出会うのは無力が徹底した所 だから挫折や病は 絶好の機会なのかもしれない

3/28 の受難週礼拝は長崎哲夫牧師に説教をお願いしています。山本は無牧の甲府中央教会へ。4/4 は復活祭、聖餐式と洗礼式があります。4/11 は礼拝後に総会、会員の方は予定しておいてください。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。